

三重県立四日市農芸高等学校

URL : <http://www.mie-c.ed.jp/ayokka/wp/>

活動紹介

■活動場所

本校周辺、多度イヌナシ自生地、かなししょうす金生水沼沢植物群落

■活動日、活動頻度等

月1回程度

■活動内容

例年、年間2回程度多度のイヌナシ自生地の保全活動に協力しています。活動内容は、草刈りが中心ではありますが、主催者の方々の配慮もあり生徒たちも獣害ネットを張らせていただいています。この活動も、3年目となり四日市農芸高校の獣害ネットエリアが少しずつ広がっています。大変喜ばしいことです。

また、最近足を運ぶことが少なくなったものの、鈴鹿市にある金生水沼沢植物群落においても活動をおこなっています。今年度は、1度だけ本校元職員の赤嶺和彦先生のナビゲートで保全活動に協力させていただいたのみですが、後日「非常に熱心に説明を聞いてくれた」とお褒めの言葉をいただきました。

保全活動に協力することは、以前より少なくなったかもしれませんが、湿地に興味をもっている生徒が、積極的に参加してくれたことは大きな収穫となりました。

自然環境コースでは、地域の自然観察をおこない、課題研究の授業で調査研究をすすめています。活動が継続できるように今後も働きかけを継続していきたいと思えます。

代表者の想い

四日市農芸高校では、環境に関する取り組みを大切にしています。そのなかでも、環境造園科自然環境コースではフィールドワークを中心とした学びに力を入れています。「答えは、フィールドにある」は、本校職員が生徒に向けてよく語りかけるフレーズのひとつですが、生徒たちは3年間の間に大きく成長を遂げます。なかには、大学に進学し、その後環境にかかわる仕事に就くものもいます。

「環境を守ること」は、簡単なことではありません。地球で暮らすあらゆる生きもののことを考えながら、学び、働き、暮らせる人材育成に向かって生徒、職員一丸となって頑張りたいと考えています。

PR

四日市農芸高校自然環境コースでは、豊かな自然を活用して様々な取り組みを展開しています。校外実習においても、内部川や四日市市少年自然の家、南部丘陵公園などのフィールドを活用して自然観察をおこなっています。3年生の課題研究発表会は、その集大成といえます。それぞれのグループが自主的に研究してきたことを発表しています。自然が大好きなみなさん、自然環境コースでともに学びましょう。

